



# 外来生物 図鑑

(まっとうけない!)

港町である神戸は、外来生物が入ってきやすい環境です。

外来生物が一度住み着いたり繁殖したりすると、生態系を本来の状態に戻すのは困難で

私たちの暮らしや経済、まちの風景などにも影響があります。

やがては神戸の未来まで変えてしまうかも!?なぜほっとおいてはいけなんでしょうか。

no.1

## ツヤハダ ゴマダラカミキリ

最近市内で発見された外来種で、日本固有のゴマダラカミキリにそっくり。樹木に卵を産み、孵化(ふか)した幼虫たちが木の幹を食べて枯らせませす。幼虫やさなぎが木の中で冬を過ごすため、被害のある木を冬に伐採して焼却をしています。この夏には、成虫の駆除や分布調査を行います。

見つけたらスマホアプリ「Biome」で写真を撮って報告してください(4面掲載)

なぜほっとけないの?

公園やまちの樹木を食べてツヤハダゴマダラカミキリがさらに増えると、六甲山へ飛んでいくかもしれません。カミキリたちが六甲山の木々まで枯らしてしまうと、景観が損なわれるなど、六甲山の魅力が薄れてしまう可能性があります。

no.2

## アライグマ

気性が荒く凶暴で、天敵がおらず捕獲しなければ増える一方。年間約1,700万円に上る農業被害だけでなく、家屋への侵入や糞尿による悪臭、文化財の破壊などやりたい放題。感染症の原因になることも心配されており、年間約1,700~2,000頭という積極的な防除を行っています。

見つけても近づいたり、エサをあげたりせず下記へ連絡を  
問 市鳥獣相談ダイヤル (☎333-4408)

なぜほっとけないの?

アライグマはイチゴやトマトなどが大好物。神戸産の農作物が食べ荒らされ、収穫量や価値が低下すると、やがて農業をする人が減り、里山が荒れ果ててしまいます。また、絶滅の恐れがある動物も食べてしまうので、今まで見られていた生き物も見られなくなってしまうかもしれません。

農作物を食べ尽くす  
グルメリハンター

no.3

## ヒアリ

南米原産ですが、輸入資材などに紛れて拡散中。毒針で刺されるととても痛く、アナフィラキシーショック(アレルギー反応による危険な状態)を起こす可能性があります。配電盤などの中に巣を作り、機器の故障や停電の原因になることも。神戸では平成29年以降確認されていませんが、定期的な調査と水際対策を徹底しています。

よく似たアリを見つけても触らず  
市総合コールセンターへ連絡を

増えるはやっかい!  
小さな侵入者

no.4

## ナガエツルノ ゲイトウ

繁殖力が強く、数ミリの茎の切れ端や根からも再生・成長。田んぼに生い茂ると稲刈りができず、イネの成長を妨げます。田んぼや畑に水を送るための池や水路で繁殖すると、水が流れず農作物が育たなくなる可能性もあります。

防除活動を行う市民団体などに対しては、  
生物多様性保全活動の補助を行っています

元気があり過ぎて  
ごめんなさい



### 外来生物対策はSDGsにも貢献します

外来生物とは、もともとその地域にいなかったのに、人間により他の地域から持ち込まれた動物や植物のことです。生き物はお互いに違うものを食べ、住み分けることで絶妙のバランスでつながり、長い年月をかけて独自の生態系を育んできました。しかし、人間が船や車で外来生物を運んでしまうと、在来種を食べ、住む場所を奪い、その地域の生態系が壊れてしまいます。さらに農業被害や家屋への侵入など人間にも影響を与えます。

このため、侵入し始めた頃には徹底した防除による根絶、定着し増えつつある時期には個体数を減らし被害を抑える対策が重要。また、家庭で飼育している外来のペットを野外に放さないことも大切です。こうした対策は、陸の豊かさを守り、農業被害を防ぐことになり、様々なSDGs(地球全体で取り組む17の国際目標)の目標達成につながります。



no.5

## アカミミガメ

水草や魚を食べ尽くし、よく似た暮らしをするニホンイシガメなどのすみかまで奪ってしまいます。レンコンなど農作物にも被害が及ぶだけでなく、水草がなくなることで水が濁る原因にも。

飼っているカメは池や川に放さないでください。  
また、防除活動を行う市民団体などに対しては、  
アカミミガメ防除活動の補助を行っています

池の食べものは  
ぜんぶオレのもの

補助の詳細は  
神戸市 外来生物 補助

公園の木を枯らす  
食いしん坊

